

テーマ 3 債権・債務

重要度 ★★★

債権とは、金銭の支払及び物品の引渡等を請求する権利をいい、簿記では、資産として取り扱う。

債務とは、金銭の支払及び物品の引渡等を履行する義務をいい、簿記では、負債として取り扱う。

現代の企業活動では、信用取引（代金の決済を後日行う取引）が一般的であるため、債権・債務の記録及び管理は、簿記において非常に重要であるといえる。



このテーマの学習内容

テーマ番号	学 習 内 容	レギュラーコース	完結・速修コース
3-1	債権・債務（その1） ※	No.1 第4回	No.1 第2回
3-2	債権・債務（その2） ※	No.1 第4回	No.1 第2回

※ 上記論点は、日商簿記検定試験3級及び簿記入門Ⅰ・Ⅱで既に学習済みの内容となります。

3-1 債権・債務（その1）

1 売掛金・買掛金

(1) 売掛金・買掛金

商品売買において、得意先に対して生ずる債権は**売掛金勘定**で処理し、仕入先に対して生ずる債務は**買掛金勘定**で処理する。

(2) 割引

掛代金を支払期日前に現金預金で決済する場合、決済する日から支払期日までの利息が差し引かれることがあるが、これを「割引」という。割引には、買掛金に係る「仕入割引」と売掛金に係る「売上割引」とがあるが、割引料はそれぞれ**仕入割引勘定**または**売上割引勘定**で処理を行う。

① 仕入割引時

(借) 買	掛	金	×××	(貸) 現	金	預	金	×××
				仕	入	割	引	×××

② 売上割引時

(借) 現	金	預	金	×××	(貸) 売	掛	金	×××
	売	上	割	引	×××			

2 前渡金・前受金

商品を仕入れるにあたり代金の一部を仕入先に対して前払いしたときは、**前渡金勘定**または**前払金勘定**で処理し、その後、商品を仕入れたときに仕入勘定への振替処理を行う。

また、商品を販売するにあたり代金の一部を得意先から前受けしたときは、**前受金勘定**で処理し、その後、商品を売り上げたときに売上勘定への振替処理を行う。

3 未収金・未払金

商品売買以外の取引において、代金未決済により生じた債権は**未収金勘定**で処理し、債務は**未払金勘定**で処理する。

設 例

- (1) ① 得意先に商品20,000円（売価）を掛で売り上げた。
② 仕入先より商品20,000円を掛で仕入れた。
 - (2) ① 売掛金20,000円の決済を行ったが、支払期日前に決済したため、200円の割引を行い
残額は現金で受け取った。
② 買掛金20,000円の決済を行ったが、支払期日前に決済したため、200円の割引を受け
残額は現金で支払った。
 - (3) ① 得意先より商品35,000円の注文を受け、前受金10,000円を現金で受け取った。
② 注文を受けた商品を引き渡し、前受金との差額を掛とした。
 - (4) ① 仕入先に商品35,000円を発注し、前渡金10,000円を現金で支払った。
② 発注した商品を受け取り、前渡金との差額を掛とした。
 - (5) ① 土地25,000円を65,000円で売却し、代金は月末に受け取ることにした。
② 土地65,000円を購入し、代金は月末に支払うことにした。
-

解説 (単位：円)

(1)	①	売 掛 金	20,000	売 上	20,000
	②	仕 入	20,000	買 掛 金	20,000
(2)	①	現 金	19,800	売 掛 金	20,000
		売 上 割 引	200		
	②	買 掛 金	20,000	現 金	19,800
				仕 入 割 引	200
(3)	①	現 金	10,000	前 受 金	10,000
	②	前 受 金	10,000	売 上	35,000
		売 掛 金	25,000		
(4)	①	前 渡 金	10,000	現 金	10,000
	②	仕 入	35,000	前 渡 金	10,000
				買 掛 金	25,000
(5)	①	未 収 金	65,000	土 地	25,000
				土 地 売 却 益	40,000
	②	土 地	65,000	未 払 金	65,000


トレーニング 問題23